

学校教育目標 <元気あふれる学校> 夢に向かって笑顔で学び合う子どもの育成

<元気あふれる学校>は、金泉中・金立小・久保泉小統一の「雄飛学園」の目標です!!



久保泉だより

佐賀市立久保泉小学校

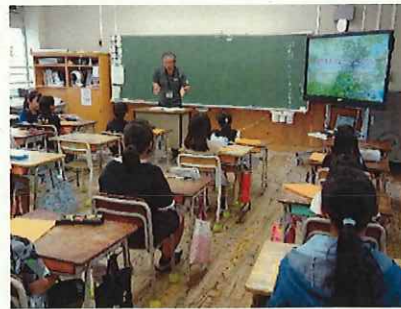
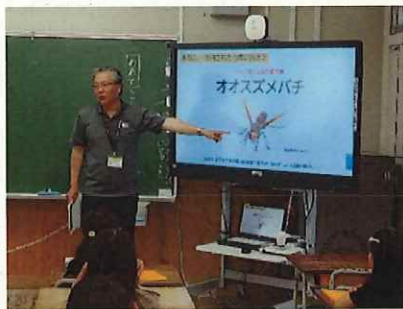
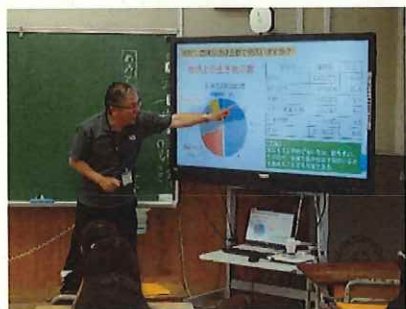
学校だより 第11号

令和6年 7月 2日

文責：校長 中村 佳代

*** 久保泉町の生き物を知ろう（3年：総合） ***

3年生の子どもたちは、総合的な学習の時間に、「久保泉町のことを知ろう」という大きなテーマをもって、学習を進めています。グループごとに、「ふるさと久保泉町の〇〇について、もっと知りたいな。」と考え、調べたいことを少しずつ焦点化していったようです。あるグループの子どもたちは、久保泉町の自然に目を向け、その中でも「生き物」について知りたいと考えたようでした。どうすれば、「久保泉町の生き物のことを詳しく知ることができるのか。」と考えた結果、「専門家の方に話を聞くことはできないだろうか。」ということになったようです。その後、子どもたちの思いが実現し、6月20日（木）には、佐賀市環境教育推進員の井上英史先生においでいただき、直接お話をお聞かせいただくことができました。自分たちの身近な、身の回りの生き物について、実に興味深い話を行っていただき、子どもたちは大満足の様子でした。この学習を通して、単に生き物について知ることができただけでなく、興味や関心をもったことを整理することや自分たちの疑問を解決するために、外部の方に相談し、連絡・調整することも学んだことでしょう。他のグループの子どもたちにも、よい刺激になったはずです。これからは、「学び方を学ぶ」、そんな学習も大切になってきますね。頑張っていました。



*** 児童集会（健康委員会） ***

6月18日（火）の児童集会では、健康委員会の子どもたちが、「虫歯」をテーマに話をしてくれました。毎日、食後の歯磨きはしていても、もしかしたら、十分でないところがあるかもしれません。「歯と口の健康」を、再確認できたことも多かったようです。楽しく学ぶことができていました。



*** 租税教室（6年） ***

6月19日（水）に、6年生の子どもたちが、「税金」について学びました。子どもたちにとって、身近な「税金」と言えば、やはり「消費税」でしょうか。今回は、佐賀市役所の市民生活部市民税課の谷川さんと福岡さんにおいでいただき、「税金には、どのような種類があるのか。」「税金を納める仕組みがなかったら、私たちの暮らしはどうなるのか。」「税金はどのようなことに使われているのか。」などについて、分かりやすく教えていただきました。子どもたちの教育費についても、その多くを税金で賄われていることを紹介していただきました。子ども一人当たり、ひと月に必要な費用を概算し、その12か月分、6年間、約20人分（6年生は22人）と考えると、なんと「一億円」ほどにもなるのだそうです。子どもたちは、その「一億円（もちろんレプリカです!!）」の入れたケースを持たせていただいて、その重さ（重み!?）を体感していました。これまでは、「どうして税金なんて払わないといけないのかなあ。」と思っていた子どもたちもいたでしょうが、専門的な



話を聞く中で、「やっぱりみんなが払わないといけない!!」と、その大切さや必要性を感じることができていたようでした。しっかりと働いて、納税できる大人に成長してほしいですね。

*** 雄飛バザー ***



6月16日（日）の午後に、久保泉小学校の体育館にて、「雄飛バザー」が開催されました。PTAの本部役員の皆様はじめ、各専門部や地区役員の皆様、中学校の保護者様やOBの皆様方にも、たくさん御協力いただき、本当にありがとうございました。当日だけでなく、前日までの準備や翌日の後片付けにも、大変御苦労いただいたことだと思います。お疲れ様でした。今回は、役員の皆様のアイデアが生かされた、新たな取組もあり、当日は、あちらもこちら大盛況で、子どもたちや地域の皆様方にも、とても楽しんでいただけたように感じました。

